



リウマチニュース

○骨塩定量検査（骨密度検査）について（放射線科）

日本では高齢化の急速な進展とともに、骨粗鬆症患者は推定 1300 万人といわれ、年々増加しつづけます。骨粗鬆症では骨折が生じやすく、生活機能や生活の質（QOL）を低下させ、さらには寝たきりになってしまうことが大きな問題となっています。

骨塩定量検査は骨粗鬆症の診断に用いられる検査で、当院では微量の X 線を利用した骨密度測定のパラメータとされている DXA 方式の装置を利用し、主に腰椎や大腿骨近位部（足のつけね）の測定を実施しています。

関節リウマチと骨粗鬆症は密接な関係があり、リウマチ患者さんは骨粗鬆症になりやすいことが分かっています。リウマチ治療とともに骨を強くする生活習慣も心がけましょう。

骨密度測定の対象

① 65 歳以上の女性

② 70 歳以上の男性

③ 低骨密度・骨量減少をきたす疾患に罹患、またはそれを引き起こす薬物投与されている方

※①②の年齢未満でも、過度の酒類の摂取・喫煙・大腿部近位部骨折の家族歴のある人
（骨粗鬆症の予防と治療ガイドラインより）

○リウマチ講演やっています！

毎月第二木曜日 16時 4階病棟ホールにて 申込みは不要

予定日	内容	講師
2月19日	リウマチ手術 いつ、どんな手術が必要ですか？	阿部医師
3月12日	リウマチと骨粗鬆症 どうしたら予防できるのか	中園院長

○歯を大切に！

歯周病菌がリウマチと関係があることをご存知ですか？最近の研究で分かってきています。また喫煙をすると、吸わない人の5倍も歯周病になりやすいというデータもあります。禁煙をして口の中もきれいに保ちましょう。

市販のうがい薬も効果があると言われて
います。30秒くらい口に含むと効果的と
のことです。朝晩の歯磨きの他に昼食後にも歯
磨きやうがい薬を使ってお口のケアをしましょう。

